

住民自治協議会だより

第31号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876
長野市大字山田中2545

TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074
E-mail otagiri-jitikyou@ngn.janis.or.jp

有償家事援助事業の再編

おたすけっと

「お互助っ人」スタート

生活支援に伴うマイカー移動支援を加える

小田切地区では独自の有償家事援助と市社協たすけあい事業をひとつにまとめ、更に生活支援に伴うマイカー移動支援を加えて再編した、新地域たすけあい事業「お互助っ人」が7月1日スタートしました。「かつら号」も上手く活用しながら進めています。

6月10日には全協力会員対象に説明会を開き、新協力会員の登録者は38名、この内マイカー移動支援に協力できる会員は25名で、従来のボランティア保険に加え、マイカー移動専用保険にも加入しています。

尚、福祉自動車「ふれあい号」は現行どおり運行中です。



協力会員説明会

おたすけっと
地域たすけあい事業再編(お互助っ人)

**家事援助に伴う
マイカー移動支援
追加**

R3年 7月1日

福祉有償運送は現行どおり

- ・料金 500円/30分
- ・買い物・講座・・・など

詳しくは裏面参照

まずはお問合せください

**お問合せ(申込み)
229-1511**

—— 小田切地区住民自治協議会 ——

新事業 「お互助っ人」

R3, 6作成
小田切地区住民自治協議会

<家事援助交えあい事業>からの変更点

■マイカーによる移動支援が増えます

一人で移動できる方は、かつら号をご利用ください



生活上に必要な移動先まで、乗せて頂けます
「いきいきかつら」の参加も支援できます

助けてもらって、ありがたい
近くのコンビニ、薬局へ行きたい

保険があるから
安心して
支援できるね



家事・生活支援したついでに
マイカーで連れてってもらえる

*専用保険に加入
方がの事故に備え、運転者の
保険より先に適用できるマイカー
移動支援の専用保険に加入して、
運転者を守ります。
*ボランティア活動保険に加入

■ 私たちも介護保険の仕組みを活用して、地区の「支えあい」を補助します

高齢・虚弱になっても、この地域での暮らしを継続できるように、住民同士による「支えあい」を介護保険の仕組みで支援します。生活支援が必要になった早期の段階から、地域包括支援センターが相談に伺います。

長野市地域包括支援センター 安茂里

チラシ

“男の社交場” 「山里整備隊」と「マレットゴルフ会」の活動

5月に立ち上がった男の社交場「山里整備隊」（酒井功隊長）と「マレットゴルフ会」（竹内弘司会長）は活動を開始しました。

「山里整備隊」は隊員14名でスタート、地区内の眺望改善や整備など考えています。初仕事は10名で6月18日の中学校グラウンドの草刈りで、更に夏祭り前に会場を整地しました。

「マレットゴルフ会」も会員を募集中、まずは整地とコース設定したグラウンドで練習から活動していきます。



6/18

第2回 小田切夏まつり 降り続く大雨で中止 感染防止対策に規模縮小して計画

昨年中止した小田切夏まつりは、新型コロナ対応の中、規模を縮小し地区内限定で、会場を初の小田切中学校グラウンドで計画しました。従来の模擬店はなく、ペットボトル類の清涼飲料販売のみにとどめ、農産物直売やゲームなども取り止め、徹底した感染防止対策で準備していただに残念です。



会場整備



やぐら

令和3年 小田切地区 夏祭り実行委員会 (TEL: 026-529-1311)

長沼水害復興支援プロジェクト 今年も枝豆贈呈

早朝収穫した軽トラ3台の枝豆を、8月12日長沼支所で長沼住自協に贈呈しました。5月13日の播種から炎天下の草取りなどを重ね育てたものです。第2弾は8月25日に農場で贈呈しました。



播種



草取り

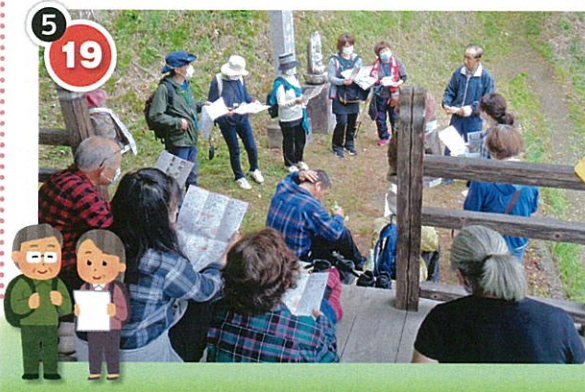


贈呈式

春の健康ウォーキング「小田切八景巡り」

2班に分け参加者限定でようやく開催

保健補導員会は交流センターと共催で、春の健康ウォーキング「小田切八景巡り」を5月19日と21日にやりました。当初、昨年春や秋の予定で、新型コロナ感染症拡大で中止となり、ようやく開催できました。巡礼桜から七ツ石、吉窪城址、西明寺まで約4kmをウォーキング、あとはバスで八景や市天然記念物を巡りました。21日は雨でウォーキングは止め、バスで西明寺へ直行しました。



西明寺

三福寺

ながのまちづくり活動支援事業 報告会

「小田切地区案内マップ」作成

「小田切地区案内マップ」は、令和2年度ながのまちづくり活動支援事業の補助金交付を受け作成しました。交付を受けた20団体の活動報告が、5月20日に大豆島公民館で行われ、小田切住自協から3名が模造紙にまとめた資料で発表しました。



かつら号停留所「日方入口」「西繁」を新設

乗合タクシー「かつら号」が運行4年目に入り、停留所新設を検討してきました。「日方入口」停留所を市道吉窪線栗林停留所北に新設、7月1日より運行開始。一方、当初より懸案の「西繁」停留所は、Uターン地が確保でき9月1日より運行しました。但し、冬期間（12月～3月）は除きます。



日方入口



西繁

延期の11地区合同成人式 中止 地区行事も開けず交流の場持てず

1月から延期され8月8日に予定されていた、2年度11地区合同成人式は、直前に新型コロナ感染者数が急激に拡大し、県外からの参加者も多いことから、やむなく中止を決断しました。

住自協でも、7月7日に錬成センターで予定していた「ひとり暮らし高齢者の集い」、10月の市民運動会とも昨年に続きコロナ禍で中止しました。運動会は3年前の平成30年に開催したきりで、その前後各3年連続雨天を含め中止され、地域交流の場が中々持てない時が続いています。

令和3年度 支所発地域力向上支援金事業

3団体より4件の応募があり、5月27日の選考委員会にて3件に支援が決まりました。支援金総額は337千円です。

1	「NPO法人 小田切オアシス」 ～長沼水害復興支援専用農場看板設置事業～ 酒井 昌之 代表 支援額 62千円 (要望額113千円)	復興支援プロジェクトで専用農場を開設し、支援活動を行っているが、その所在地が分かり難いとの指摘があり看板設置したい。
2	「NPO法人 小田切オアシス」 ～ミニ耕運機購入事業～ 酒井 昌之 代表 支援額 165千円 (要望額165千円)	長沼復興支援農場は耕作放棄復元地のため、雑草繁茂で除草作業が難航しており、機械作業が欠かせず耕運機を購入したい。
3	「山里整備隊」 ～グラウンドの整備事業～ 酒井 功 代表 支援額 110千円 (要望額150千円)	小田切中学校グラウンドは荒廃し葎など生い茂っており、伐根作業などで整地し、夏まつりなど多目的に利用できるよう整備したい。

福祉委員会の活動報告

模造紙にまとめ市社協に提出

福祉委員会は2年度の活動報告を模造紙2枚にまとめました。コロナ感染症対応で計画行事がほとんど中止される中、工夫して行われたサロン活動や福祉委員活動などを川柳で振り返っています。これは市社協ホームページで公開されており、他地区の活動報告も参照してください。



市社会福祉功労者表彰

小田切地区社会福祉大会は11月予定

長野市社会福祉大会は今年も中止となりましたが、社会福祉事業協力者表彰で小田切地区から長年福祉自動車の運転に尽力された、山上健一前運転協力員に感謝状が贈られました。

一方、小田切地区では第3回社会福祉大会を、11月5日に交流センター体育館で開催を予定しています。

第71回社会を明るくする運動

7月



湯の瀬ダムに発電所建設 6年度完成



小田切ダム放流 水位降下で市道通行止め

7/7 ~



長沼支援農場に看板設置



第三次福祉活動計画策定委員選考会議

8/6



やまびこ

東京オリンピックが8月8日閉幕、24日からパラリンピック。こちらは新型コロナと戦いながらテレビで見えていたが、なぜか国内でやっている感がなかった。メダル58個、金27個は過去最多とか。住自協だより発行の度にコロナの波。1月の3波、5月に4波、そして今回。県内感染者8月13日に1日109人と初の100人超え、この日全国も初の2万人超。忘新年会を待ち一応の店探し。